

「女性の尿意が可視化される眼鏡をかけた超能力者が尿意を操るおしっこパラダイス」

登場人物

ひかる

おしっこが大好きな20代男性。「シー」と唱えると近くの女性の尿意を操れる超能力を持つ。

「」セリフ

()心の声

第一章 裏路地にある闇市で

ひかるは繁華街の裏路地にあるという闇市にいた。そして闇市で面白そうなものを物色していた。

「あの、この「ニヨーイミール」ってなんですか？

売人「これはな、かけた状態で耳当てにあるボタンを押しながら目当ての女性を見てロックオンするとその女性の上に尿意ゲージが現れる。ゲージの中にレモン色の水が見えると思う。それが多ければ多いほど尿意を感じている。一度に5人まで見ることができる。充電が切れるとその機能は使えなくなるから充電を忘れないように。」

ひかる「そういうことね。それと僕の特殊能力を組み合わせればもう最強だ。」

売人「どんな能力かな？」

ひかる「近くにいる若い女性に向けてシー！シー！と唱えると尿意を自由に操ることができます。」

売人「そんな能力持ってるの、それなら君には特別に半額で売ろう。」

ひかる「ありがとうございます。」

第二章 手始めに某路線の車内で使ってみたら

ひかるは都内にある某路線の車内にいた。

ひかる「だれの尿意を操ろうかな。」

そのとき

JK1「あの先生ほんとに面白いよね。」

JK2「そうね。」

ひかる「あの二人にしよう。」

そして早速その二人のJKの方を見ながらボタンを押してロックオンした。

ひかる(おお、二人ともあまり尿意は感じていないみたいだ。)

そして僕は能力を使い二人の尿意を操った。

ひかる「シー——！シー——！」

JK1「うう…。」

JK2「ううう…。」

すると徐々に尿意ゲージのメーターが増えていく。

ひかる「シー——！シー——！」

するとどうなったのか。

お試し版はここまで。続きは製品版をご購入ください。